

看護あきた

Nursing Akita

Vol. 139

令和元年度 4号
公益社団法人 秋田県看護協会会報

CONTENTS

シリーズ 施設自慢.....	1
シリーズ 輝いている人・3職能委員会の活動報告	2
令和元年度 認定看護管理者教育課程	3
令和元年度 訪問看護推進事業報告	4
地区支部活動報告	5
役員等立候補者の公示・理事会だより	6
事務局からのお知らせ.....	7



施|設|自|慢



■社会医療法人 明和会 中通リハビリテーション病院 総看護師長 豊嶋 純子

中通リハビリテーション病院は昨年5月に開設50周年を迎えました。脳卒中後遺症で自宅での生活を余儀なくされている人達のために、バリアフリーな社会を目指し、秋田県で最初にリハビリテーション医療を行った歴史ある病院です。リハビリテーションとは障害のある人たちの「生命の質」「生活の質」「人生の質」を豊かにすることである。という病院理念のもと、看護部門理念は、①患者さんの尊厳を守り、看護を創造します。②患者さんのQOL向上に努め、地域社会での生活を支援します。このことを基に、病棟では季節や日常を感じられる病棟環境づくりを行い「習慣的で日常的なケア」を丁寧に実践しています。また、口から「食べたい」「食べる」を「回復する意欲」につなげるために「嚥下訓練食Ⅰ～Ⅲ・移行食・全粥」と食事形態や姿勢を工夫しケアを行っています。

患者さんが日常生活を送るために必要なADL・QOLの向上を目指し、多職種が連携し患者さん一人ひとりのニーズに対応できるようにチームアプローチを基本に取り組んでいます。また、入院患者さん全員に医療ソーシャルワーカーが対応し、施設を含めた地域での生活が可能となるように支えます。看取りの患者さん・家族にもチームでコミュニケーションを図り患者さんの苦痛軽減、家族の不安を最小限にとどめ、QODを意識し「意思決定を支える」こ

とができるように、受け持ち看護師を中心に、傾聴と丁寧な対応に心がけています。外来では、グリーンケアを考へる中で医師と看護師が弔問を行うケースもあります。

看護職員の教育に関しては、経年別プログラムにポートフォリオを組み入れ、目標管理とポートフォリオの両輪で「意志ある学び」を可能としています。現在、認知症看護認定看護師1名、回復期リハビリ看護認定者2名と履修中1名、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師過程履修者1名、認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了1名、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士3名と各々が目標を持って学ぶ環境が整ってきています。昨年は看護業務委員会と看護教育委員会が協力し看護補助のキャリアラダーシステムを作成し活用、今年はJNAラダーレベルに基づき看護クリニカルラダーシステムを作成しました。

看護部門では、患者さんに合わせた看護を創造することを楽しさと喜びを感じ、患者さんのニーズに対応できるチームアプローチが自慢です。リハビリ医療の今後は、「神経学的音楽療法」や「ロボット・AI」を活用した障害の克服と、身体と心の「バリアフリーな社会」の実現ではないかと考えます。





大曲厚生医療センター
緩和ケア認定看護師

大河 弘子 氏

輝
い
て
い
る
人

今年で7年目の春を迎える緩和ケア病棟に勤務しています。

緩和ケア病棟の病床稼働率は90%を超え、院内外を問わず入棟待機している患者さんが少なくない現状です。大曲の花火が一望でき、薔薇が咲くベランダにベッドで散歩したり愛用のペットとの面会が可能なことも、緩和ケア病棟の特徴です。

私が日々心掛けていることは、患者さんと家族の抱えているつらさや気がかりを把握し、つらい症状を第一に緩和することです。そのために丁寧な観察をし、日常の対話のなかからヒントを得て、患者さんと家族がほんの少しでも笑顔になれるよう、笑いのエッセンスを注ぎながらケアを実践しています。毎日の関わりで「私のケア、これで良かったのだろうか…」と何度も振り返ることがあります。またスタッフも同様の悩みを抱えることもあるため、カンファレンスの場で考えや思いを出し合い、日々のケアに活かしています。

今後は、在宅看取りを含めた地域との取り組みも必要であると考えています。

大好きなプロ野球観戦を楽しみにストレスマネジメントしながら、これからも緩和ケアの魅力を追求していきたいと思っています。



3職能委員会の活動報告

◆保健師職能委員長 鹿子沢 真由美

今年度は、「保健師の資質の向上と組織強化を図る」、「保健師の専門性を生かした保健活動の推進」を目標に、各種事業等を実施しました。

保健師職能集会・交流会は、「自分の保健師としてのキャリアをデザインしてみよう」をテーマに武蔵野大学の中板教授を迎え、実施しました。統括保健師のための組織強化研修は、「記録を施策に活かす」をテーマに山形県立保健医療大学の菅原教授を迎え、実施しました。

ほかに、新任期保健師の交流会「保健師のひろば」、「保健指導ミーティング」を実施し、新任期の実践力アップにつなげました。

組織強化事業として、保健師のメーリングリストの完成、保健師団体連絡会の実施、保健師職能通信の発行を行いました。



◆助産師職能委員長 篠田 玲子

5月11日「国際助産師の日」イベントで写真展示による「助産師の仕事紹介」を行いました。また7月27・28日は秋田県武道館で「子育て応援団すこやかあきた2019」が開催されました。助産師職能委員は乳幼児の身体計測を担当し、発育状態を確認しながら母乳や離乳食の相談に応じたりアドバイスをを行っています。

8月29日「助産師交流会」を実施しました。参加者は33名で、午前は中通総合病院神経精神科科長石川博康氏（現 秋田大学医学部附属病院）による「妊娠中のメンタルヘルス」講演、午後は公立横手病院鈴木智都助産師の事例発表、その後意見交換やグループワークを行いました。参加者からは「地域連携の在り方や重要性が理解でき、支援の方向性を考える良い機会になった」と好評を得ることができました。



◆看護師職能委員長 鈴木 節子

●看護師職能交流集会

令和元年8月31日（土）能代厚生医療センター講堂において、「多職種が地域でつながる在宅ケアのあり方」をテーマに開催し、参加者43名でした。講演・3職種の情報提供や、他施設、多職種との意見交換を通して、地域の現状を知る機会となり情報交換できたことに満足したとの意見が多く寄せられました。

●看護師の現任教育とクリニカルラダーの活用実態調査

県内の病院、特別養護老人施設、保健老人介護施設を対象として、7月～8月にかけて調査しました。現任教育の課題やJNAラダーの認知・活用実態が明らかとなり、JNAラダー推進に向けて取り組むべき方向性が示唆されました。調査結果の詳細に関しては、ホームページに掲載しております。



●介護・福祉施設の教育体制把握と教育プログラム作成支援に向けたアウトリーチ活動

次年度の看護師職能Ⅱの立ち上げに向けて、事務局との協働で15施設中7施設の職場訪問を終え、現状を把握することができました。課題を整理しながら、次年度の活動につなげていきたいと思っています。

令和元年度 認定看護管理者教育課程

ファーストレベルを終えて

ファーストレベルを受講して学んだこと

元号が令和に変わった5月、開講式に臨んだ私達は不安と緊張に包まれていました。受講者はどんなメンバーなのか、どのようなレポートが課せられるのか、座学に慣れていない自分は何時間も座っていられるのだろうかなど、先に受講した同僚から聞いた楽しさと苦しさを想像しながら着席した日が、つい先日のことのように思い出されます。

私は看護主任として4年目となりますが、今まで看護管理について深く学ぶ機会が無く、マネジメント能力が問われる場面で困惑することが多くありました。ファーストレベル受講により、看護管理の基礎を中心に多方面からの学びで視野を広げ、部署内での自身の役割や課題を明確にして、行動変容できることを目的に受講しました。5つの教科目や特別講演から、「ヒト」「モノ」「カネ」を基盤に「情報」「知識」などを絡めてマネジメントすることを学び、統合演習で看護管理について具体的に考えを深めることができました。グループワークや統合演習では、多くの看護観に触れ影響を受けました。日々の学習カードや課題レポートでは、産婦人科病棟である自部署の未来を想像しながら、苦しいほど自分自身と向き合う機会となりました。特に、2025年問題を越えた2040年を考えるヘルスケアシステム論のレポートに苦慮しました。ヘルスケアシステムとは何なのか、

寝ても覚めてもヘルスケアシステムという言葉が頭から離れない日々を過ごしたのは、私だけではなかったと思います。また、今年度から始まった統合演習では、アドバイスを受けながら6人のメンバーで意見交換し、自部署の問題を自己の課題へと変換して明文化し、改善計画書を作成することができました。更に、発表により全員で共有することで、同じ看護職であっても、施設の規模や対象患者の違い、雇用形態や専門分野の違いによって視点が異なり、取り組むべき課題も違っていることを知り、有意義な時間となりました。

本日を含め延べ22日間、この研修室に足を運びました。講義、特別講演、統合演習支援の22名の先生方、秋田県看護協会の方々、受講者同士など貴重な出会いが沢山ありました。

最後に、今回の受講の機会を与えて頂いた自施設、自部署のスタッフ、講師や秋田県看護協会の方々、苦楽を共にした受講者同士など、多くの支えがあったことに感謝し、ファーストレベル受講での学びを自部署に還元することを責務と考え、看護管理者として役割を全うする覚悟を持って前進することをお約束し、お礼の言葉とさせていただきます。

(修了者代表 能代厚生医療センター 工藤 佐智子 さん)

◆実施内容

1. 研修期間：5月24日～8月28日
全113時間
2. 修了者数：62名



セカンドレベルを終えて

集録集から一部抜粋

☆約2か月間にわたり、どっぴりと看護管理に向き合うことで、改めて看護師という職業の魅力を再認識できたと感じている。それは「看護とは何か」＝「自身の看護観」であることを徹底的に掘り下げられたからだ。本当にやりたい、やるべき看護とは何か、看護師長として果たすべきことは何かということを各分野の視点から考えることで自分の原点に帰ることができた。

☆講義の資料を読み返すと、講師の看護に対する熱意や期待が講義の中に込められていたことにあらためて感動し、学ぶ喜びをスタッフにも伝えたいと感じている。そのために自分自身が、学ぶ機会を多く持ち、自己の課題を見つめ実践として行動で伝えていきたい。

☆すべての科目で、未来に向けた看護管理実践の必要が説かれており、学んだことを統合し、看護管理実践に生かしていく必要性を感じた。研修参加時の自身の目標についても5年先、10年先を見据えた部署の体制に合わせたものになるよう検討したい。

◆実施内容

1. 研修期間：9月3日～11月13日
インターバル：
10月28日～11月1日の期間に
実習2日間 全182時間
2. 修了者数：31名
(秋田県27名、青森県4名)



令和元年度 訪問看護推進事業報告

1. 訪問看護師養成講習会

研修期間：5月15日～9月17日（全153時間） 修了者数：10名

《受講者の声》

- 訪問看護の魅力を感じ、看護師としてのやりがいや誇りを持つことができました。
- 素敵な講師の方々との出会いが最高でした。
- 講師の先生方の言葉、講義内容にとっても感動し、心が揺さぶられました。大げさかもしれませんが、生まれ変わったような気がします。



2. 訪問看護実践力向上研修

テーマ：「在宅での暮らしを支える看護

－看取りにおける看護の役割－

《受講者の声》

- 施設内で多くの利用者さんの看取りを行ってきましたが、自分に不足していた考え方、価値等に気づくことができました。
- 地域周辺での現状などを話し合ったり、意見を聞くことができて良かった。
- 地域で研修を開いていただけると仕事の調整がしやすく、参加しやすい。

内 容	日 時	受講者数
〔基礎編〕 看取りにおける看護の役割	9月2日(月) 9:30～15:30	20名
〔実践編〕 地域における在宅での 看取りを考える	8月8日(木) 14:00～16:00 中央地区開催	16名
	9月11日(水) 14:00～16:00 県南地区開催	13名

♡令和2年度は、訪問看護師養成講習会、訪問看護実践力向上研修、訪問看護管理者研修の3つを予定しております。在宅での暮らしを支える看護の実践について、一緒に語らいながら学んでみませんか。皆様のご参加を心からお待ちしております。

令和元年度 介護・福祉施設研修講師派遣事業報告

地域で働く看護職への支援として今年度より認定看護師、専門看護師の講師派遣を始めました。全県より64件の応募があり希望された15か所の介護保険施設等を選び実施した。出前講座の効果として「自施設の多職種が同じ学びができる」「直接質問相談ができる」「移動時間が省ける」などの声があり11件の施設が「(次回も)是非参加したい」と答えた。



介護・福祉施設等の看護職員 の能力向上プログラム作成支援事業報告

地域で働く看護職への支援として、施設における看護職の教育体制を知るため、9～10月にかけて15か所の介護保険施設等（詳細は表1参照）を訪問し日本看護協会が作成した「介護施設における看護職のための体系的な研修プログラム」の紹介と課題抽出ができた。

表1〈令和元年 職場訪問概要〉

n=15施設

	療養型 病 床	特 養	介老保	合 計
県 北	1	1	3	5
中 央	0	3	3	6
県 南	0	1	3	4
合 計	1	5	9	15

PayPay PayPay払いが可能に!!

令和2年度の研修より受講料のPayPay支払いが可能になりました。PayPayアプリを起動して、コンビニ払込票左下のバーコードを読み取ってお支払い下さい。

※受付時の確認はPayPay支払履歴画面にて確認いたします。



ダウンロードしたアプリを起動

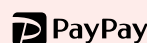
- ① アカウントの登録
- ② 支払い方法の設定
- ③ PayPayで支払う



PayPay 請求書払い の利用方法

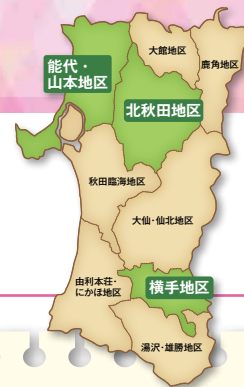
令和2年度教育計画冊子にてご案内しておりますので、ご確認ください。

バーコードを読み取ってPayPayで支払可能!



Apple storeまたはGoogle playからアプリをダウンロードして使用して下さい。

地区支部活動報告



北秋田 地区支部

北秋田地区支部長 五代儀 明美

ふれあい看護体験

7月26日市内の中学生・高校生10名を対象に一日看護学生を開催しました。いろんな看護体験を通して将来の進路を選択する上で参考にしてくれたようでした。



まちの保健室

春は「もちっこまつり」、今回はじめて秋の「ごっつおまつり」に参加して、阿仁地区等の住民の方がたくさん参加があり、健康に関する情報提供を行って少しでも興味を持ってもらえるように呼びかけを行いました。

研修会

9月7日北秋田市民病院の緩和ケア認定看護師 工藤可奈子氏による「がんと診断された時からの緩和ケア」と題して41名の参加がありました。緩和ケアの提供体制や苦痛緩和、家族ケアも含め講演頂き、院内外のスタッフとの情報交換の場にもなりました。

交流会

11月30日北秋田市民病院にて北秋田市民ブル館長 佐々木禎尚氏による「めざせ・美ボディ」と題してエクササイズを開催しました。普段あまり使うことのない筋肉を動かして美ボディ目指して汗を流しました(笑)。



能代・山本 地区支部

能代・山本地区支部長 日沼 ゆかり

交流会

地区支部活動として会員交流会があり他病院や施設、また、地域の会員の皆様と楽しく交流を図る目的で行われています。

平成30年度は「太極拳」、令和元年度は「美味しいコーヒーの淹れ方を学びコーヒーを飲みながら過ごす」とし交流会を開催し普段見れない実際の焙煎を見学しました。コーヒーを飲みながらゆっくりとした時間の中で会話が弾みリフレッシュになったという感想が聞かれています。

来年度から能代山本地区支部集会がなくなり、益々皆様と会える、交流する機会が減ると思います。来年度からの活動目標を地域と繋がることをさらに強く意識し交流会を1回から2回へ増やしました。①交流会リラックス・ヨガ(10月頃)②バス小旅行(11月頃)と計画をしました。皆様ふるって参加し顔の見える関係を築き、みんなでリフレッシュしましょう。役員一同、皆で楽しめる企画を頑張ります。



横手 地区支部

横手地区支部長 遠藤 まゆみ

「働く車大集合! & 仕事の王国」

7月20日秋田ふるさと村において、「働く車大集合! & 仕事の王国」が開催されました。横手地区支部では6名が参加協力し、白衣の試着体験・写真撮影や消毒体験、注射体験、模型の赤ちゃんを使用し着替えやおむつ交換体験を行いました。好評だったのは、「白衣の試着体験・写真撮影」で、270名と多くの子供たちが参加してくれました。

今回、参加してくれた子供たちが看護師の仕事に興味を持ってくれるきっかけになればいいと思いました。

「看護研究発表会」

12月3日平鹿総合病院講堂において、地区支部看護研究発表会を行いました。60名の参加があり、平鹿総合病院、市立横手病院、市立大森病院から演題4題と、平鹿地域振興局より活動報告がありました。今年度は、秋田県立衛生看護学院の金子利恵先生に1題ずつわかりやすく講評して頂き、有意義な研究発表会となりました。



令和2年度 役員等立候補者の公示について

令和2年度役員等の選挙について、次の候補者が立候補されましたので公示します。

令和2年3月4日
秋田県看護協会選挙管理委員会
委員長 高田 真喜子

1. 理事・監事候補者

(任期－理事2年、監事4年 所属－令和2年2月18日現在)

役職名	氏名	職種	所属施設名	協会活動歴	摘要
理事	白川 秀子	看護師	秋田大学医学部附属病院	元認定看護管理者教育運営委員会委員	推薦委員会推薦
理事	戸 蒔 高子	助産師	在宅	現理事（副会長）	推薦委員会推薦
理事	吹谷 由美子	看護師	秋田県看護協会	現理事（常務理事）	推薦委員会推薦
理事	佐々木 澄子	看護師	由利本荘医師会立由利本荘看護学校	現理事（会計理事）	推薦委員会推薦
理事	鈴木 節子	看護師	在宅	現理事（看護師職能Ⅰ）	推薦委員会推薦
理事	佐々木 幸子	看護師	由利組合総合病院	－	推薦委員会推薦
理事	佐々木 富美子	看護師	大曲厚生医療センター	元地区支部委員（副支部長）	推薦委員会推薦
理事	高橋 礼子	看護師	市立横手病院	元地区支部委員（副支部長）	推薦委員会推薦
理事	佐藤 美奈子	看護師	雄勝中央病院	－	推薦委員会推薦
理事	阿蘇 真澄	准看護師	本荘第一病院	－	推薦委員会推薦
監事	加藤 節子	看護師	藤原記念病院	現看護労働環境改善委員会委員	推薦委員会推薦

2. 推薦委員会委員候補者

(任期－2年、所属－令和2年2月18日現在)

氏名	職種	地区	所属施設名	協会活動歴	適用
丹 真理子	看護師	県北	能代厚生医療センター	－	推薦委員会推薦
土門 美紀子	看護師	中央	本荘第一病院	現推薦委員会委員長	推薦委員会推薦
阿部 真須美	看護師	県南	市立角館総合病院	－	推薦委員会推薦

令和3年度 代議員等立候補者の公示について

令和3年度日本看護協会代議員及び予備代議員について、
次の候補者が立候補されましたので公示します。

令和2年3月4日
秋田県看護協会選挙管理委員会
委員長 高田 真喜子

1. 代議員候補者（推薦委員会推薦）

(代議員数7名、任期－令和3年度1年間、所属－令和2年2月18日現在)

NO.	推薦区分	氏名	職能別	所 属	協会活動歴
1	保健師職能	鹿子沢 真由美	保健師	秋田市役所	現理事（保健師職能）
2	助産師職能	齊藤 清子	助産師	秋田県立衛生看護学院	元秋田県看護学会委員長
3	看護師職能	鈴木 節子	看護師	在宅	現理事（看護師職能Ⅰ）
4	看護師職能	豊嶋 直美	看護師	リンデンバウムいずみ	現理事（看護師職能Ⅱ）
5	看護師職能（准看）	阿蘇 真澄	准看護師	本荘第一病院	－
6	由利本荘・にかほ地区支部	石川 みゆき	看護師	本荘第一病院	元社会経済福祉委員会
7	秋田臨海地区支部	加藤 禎子	看護師	市立秋田総合病院	－

2. 予備代議員候補者（推薦委員会推薦）

(予備代議員数8名、任期－令和3年度1年間、所属－令和2年2月18日現在)

NO.	推薦区分	氏名	職能別	所 属	協会活動歴
1	保健師職能	若松 香奈子	保健師	仙北市役所	現保健師職能委員会委員
2	助産師職能	石川 ひとみ	助産師	秋田大学医学部附属病院	現助産師職能委員会委員
3	看護師職能	戸沢 晴美	看護師	大曲厚生医療センター	現看護師職能委員会委員
4	看護師職能	石野 真理	看護師	介護老人保健施設遊心苑	－
5	看護師職能（准看1）	細谷 玲子	准看護師	本荘第一病院	－
6	看護師職能（准看2）	高橋 順子	准看護師	市立田沢湖病院	現理事（准看護師）
7	由利本荘・にかほ地区支部	熊田 典子	看護師	由利本荘医師会病院	－
8	秋田臨海地区支部	藤田 鈴代	看護師	湖東厚生病院	－

理事会だより

第7回 令和2年1月22日（水）

【議 事】

- 1) 令和2年度重点事項（案）について[承認]
- 2) 令和2年度事業計画（案）について[承認]
- 3) 令和2年度教育計画（案）について[承認]
- 4) 令和2年度通常総会議案及びプログラム（案）について[承認]
- 5) 理事会の開催回数等について（案）[承認]
- 6) 理事報酬等支払規程の一部改正について（案）[承認]
- 7) 職能委員会規程及び委員会規程の一部改正について（案）[承認]
- 8) 訪問看護ステーションあきた運営規程及び訪問看護ステーションおおだてハチ公運営規程の一部改正について（案）[承認]
- 9) 地区支部への法人カードの導入及び法人カード管理規程の制定について（案）[承認]
- 10) 令和2年度会長表彰受賞者（案）について[承認]
- 11) 令和元年度会長表彰受賞者（優秀学生賞）（案）[承認]
- 12) 令和元年台風19号等による大雨被害への寄附について（案）[承認]

【協議事項】

- 1) 日本看護協会への要望について

- 2) 地区支部活動の見直しに伴う定款・定款細則の改正及び地区支部規程の制定等について（討議案）
- 3) 令和2年度予算精算状況について

【報告事項】

- 1) 会長（代表理事）の職務執行状況報告
- 2) 三職能・地区支部事業報告
- 3) 常務理事（業務執行理事）の職務執行状況報告
- 4) 会計報告
- 5) 各地区支部集会について
- 6) 令和2年度日本看護協会会長表彰候補者について
- 7) 令和2年度日本看護協会通常総会一般参加者について
- 8) 令和2年度秋田県看護協会改選役員・推薦委員候補者の推薦、令和3年度日本看護協会代議員及び予備代議員候補者の推薦について
- 9) 訪問看護ステーションのパート職員への特別支給（慰労金）について
- 10) 令和2年度秋田県看護協会及び日本看護協会行事日程について

※概要を知りたい方は、当協会ホームページ（<http://www.akita-kango.or.jp/>）をご覧ください。ホームページにアクセスできない方は、当協会にご連絡ください。

創立70周年記念事業編纂委員会からのお知らせ

この度、60周年記念誌から現在までの10年のあゆみをまとめた「秋田県看護協会創立70周年記念誌」を発刊することができました。これもひとえに会員ならびに関係者各位のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。記念誌は会員施設に1部贈呈となり、全会員の皆様にお贈りできないことをお詫び申し上げます。記念誌の内容は当協会のホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。



秋田県ナースセンターからのお知らせ

看護師等の免許をお持ちで退職等によりその職を離れる方はナースセンターへ届け出ることが努力義務化となりました。復職に向けた情報提供や相談などのサービスを受けることができます。

対象者

- 離職した方
- 看護職の仕事を離れている方
- 免許取得後就職していない方



開催時期

令和2年
10/7水~11/13金
時間 18:00~20:00
(水曜日と金曜日、全12回)

第5回「解剖学の学び直し講座」

【会 場】秋田大学医学部学生実習棟 第1実習室(1階) ■参加費：無料
■対象者：秋田県看護協会会員 ■申込み：7月6日(月)17時必着
*参加希望者は、協会を通じた事前登録が必要です。1回の受講でも構いません。

事務局からのお知らせ

開催日時

令和2年
6/24水
9:30~15:30

秋田県看護協会通常総会

【会 場】秋田県総合保健センター2階 大会議室 ■対象者：秋田県看護協会会員

開催日時

令和2年 **5/16土**
10:00~14:45

「看護の日」フェア・「国際助産師の日」記念行事

【会 場】秋田拠点センター アルヴェ
1階 きらめき広場
■対象者：秋田県民(どなたでも参加可)
■参加費：無料

第46回 秋田県看護学会演題募集

■対象者：秋田県看護協会会員 令和2年度
入会手続きを済ませた者
■演題受付期間：令和2年3月16日(月)
~5月29日(金)
*演題募集、論文投稿に必要な書類は秋田
県看護協会公式ホームページからダウン
ロードしてください。

地域における看護研究支援

■対象者：秋田県看護協会会員
■支援期間：令和2年4月~令和3年3月
■定 員：10名
■申込み切：4月23日(木)
■経 費：1題につき30,000円
*詳細は秋田県看護協会公式ホームページ
をご覧ください。

令和元年度
ふれあい募金へ
のご協力ありがとうございました。



ご報告 募金総額 1,676,573円 寄附等総額 1,700,000円

- (内訳) ①歳末助け合い募金・海外助け合い募金活動への参加 — 30万円
②県内社会福祉施設等への寄附金の贈呈 — 50万円
③被災地(台風19号等による大雨被害)への寄附 — 60万円
④災害支援ナース派遣準備資金の積立 — 30万円

編集後記

寒さも少しずつ和らぎ桜の花が待ち遠しく感じるこの頃、今年度も予定通り年4回「看護あきた」の発行を終えることができました。ご協力頂いた皆様には深く感謝いたします。今後とも医療現場のニーズをいち早くキャッチし情報を皆様に提供できるように広報委員一同頑張っていきたいと思っております。これからもどうぞご支援宜しくお願いします。

(記：広報委員 佐々木 亜希子)

東洋羽毛 睡眠セミナー 無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

今よりもぐっすり。幸せな毎日のためのヒントがきっと与えられるはずです。

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただきます。

《テーマ例》

- 睡眠習慣を整え、キラキラ輝く私に
- よりよく眠るためのセント・ルイス6カ条
- 体内時計を整えてよりよく眠る方法

東洋羽毛イメージキャラクター 眠月かおり

東洋羽毛北部販売株式会社 秋田営業所

〒010-0951 秋田県秋田市山王6丁目9-25山王SEビル5F

お気軽にお問い合わせください

0120-639601